

平成25年度
私立学校初任者研修 小学校（東日本地区）研修会
実施報告概要

小学校（東日本地区）の本年度初任者研修会は7月30日（火）～8月1日（木）の3日間、千葉市の東京ベイ幕張ホールで開催され、55名が参加した。

1日目には開会式に続いて、立教小学校、田代正行教頭の講演「すてきな先生」では、教師の人間的な魅力はとても大切な要素であるとして、理想の教師像を熱く語った。

次に、昭和女子大学附属昭和小学校、小泉清裕校長からは「教材創りのコツ」と題して、日々の授業を充実させるための教材研究の重要性を学んだ。

その後、参加者及び運営委員を交えて夕食を兼ねての経験交流会が催され、限られた時間ではあったが初任者にとってはコミュニケーションの場として有意義なひとときとなった。

2日目は、午前中は元全日空整備本部教育訓練部チーフインストラクターの中村勝充氏を迎えて、「企業研修から学ぶ」をテーマに、講義と実習を行った。他者とのコミュニケーションをどのようにとるか、実際にロールプレイング



をやることで、相手の気持ちを理解することの重要性を学んだ。

午後からは、動きやすい服装に着替えてリクレーション講習が行われた。講師は健康リクレーション研究所、山田征夫主宰で、巧みな話術で受講者を惹き付けた。受講者からは「学校へ戻ったら、特別活動に是非とも導入したい」という声も聞かれた。

夕食後は、自由討議が行われ、指導助言者のもと、教室での日々の悩みや問題点などを議論しあった。

3日目は、武蔵野東小学校、市川智教頭による講演「多様な子どもにどうかかわるか」では、指導の難しい子どもへの対応を話していただいた。



閉会式では、日本私立小学校連合会、菅野秀二常務理事による研修会の総括を交えた閉会挨拶の後、参加者代表に修了書が授与され3日間の研修会は終了した。

